

議会だより

伊那市議会事務局
TEL 0265-968149
FAX 0265-79117
E-mail: gk@inacity.jp

Vol. 37

総務委員会の活動報告 (教育委員と懇談)

教育委員会との懇談会を実施しました。教育委員5人、総務委員7人が出席し、体育施設の今後の方向性、学校給食 食農体験事業「暮らしのなかの食」、高遠学園構想、教育関係の諸課題などの4点について懇談を行いました。

● 体育施設の今後の方向性

昨年、市内体育施設のうち41施設の視察を行った中で、今後、利活用方法の見直しをすべき施設について総務委員会側から提案しました。

今後の課題としては、伊那市民プールと高遠スポーツ公園プールの、現在2つあるプールについて、プールを全く持たない市町村が増えている中で、市民の声を聞きながら、方向性を考える必要があります。

伊那市の体育館については観光との連携に魅力があり、入野



教育委員会との懇談

谷と連携し食と健康を組み合わせさせて民営化する、農村体験などとパッケージして市外の学校に利用してもらう、企業の研修に使用してもらう、などの意見が出ました。

多くの施設の中でほとんど使用されていない、また、毎年高額の借地料を支払っている施設は整理をし、廃止を含めて方向性を考えていくべきとの意見が出ました。

● 学校給食 食農体験事業「暮らしのなかの食」

最初に教育委員長から、「暮らしのなかの食」の取り組み、検証について説明があり、「自分たちで作って食べるというのは、これからの学校のあり方への問題提起をしていること」との話がありました。

これに対して、総務委員から、「この取り組みに学習時間がとられて学力が低下するのでは」との質問があり、教育委員長から「各学校でも、活動の時間は朝や昼休み、休み時間などを有効に使い、教科の時間を確保する」との返答がありました。

また、「畑が近くにあり、耕す機械があっても、それを指導する指導者がいるのか。先生は農作

業ができるのか」との質問に対して、教育委員会から「本年度耕運機を4台購入した。使用方法などについては、今後教師と子どもたちで考えていきたい」との返答がありました。

最後に教育委員長から、「人間の根本的なものを考えると農業につながる」ということについてお話がありました。

● 高遠学園構想

高遠高校将来像検討委員会の資料を基に、コース制を導入し、それぞれが幅広く地域連携に取り組み高遠高校の実践状況とそれらに基づいた「高遠学園構想」について議論しました。

総務委員から、「構想は高遠高校の存続目的に偏っており、発想の転換が必要」「学生は地域活動に率先して加わっていて、地域において高く評価されており、今後においても期待されている」との意見がありました。

教育委員会からは、「学校間、それらと上級学校、更に博物館などの文化施設も含めたネットワークの構築・活用により小規模校のデメリットを補い、学びを高めて構想を実現していく」「支援策として小中高高等学校、教育委

員会から人員を出し、連携に係る調整を行うっていくことが考えられる」「将来像検討委員会の提言に真摯に耳を傾け、不利な立地にもかかわらず定員をわずかに下回っている高遠高校の努力と実績を高く評価したい」との考えが示されました。

● 教育関係の諸課題

西箕輪小中学校給食の外部委託について「外部委託が1年間は長すぎる。給食の質が自校給食と比べ歴然と違う。栄養面での差、味覚面での差など、同じ給食費を払っているながら差がありすぎる」とについて、予算措置を含め対応すべき」との意見が総務委員から出されました。

教育委員会からは、「建て替え時には早めの対応を心がける。これ以上の予算措置は難しいが、二学期以降は給食費を全額食材に使うよう契約書に明記するの改善される。今後の学校給食室の改修については、32年までは伊那小の給食室を残してそこから配送する。今後の改装計画の見直しは年内にはお示ししたい。いただいたご意見を十分に受け止め対応する」との返答がありました。